

令和 2 年 京都市防災会議専門委員会（原子力部会）

1 日 時

令和 2 年 1 0 月 3 0 日（金） 午前 1 0 時～午前 1 1 時 3 5 分

2 場 所

京都市危機管理センター

3 出席者

- ・京都市防災会議専門委員会 原子力部会委員 5 名
- ・関西電力株式会社 原子力事業本部 副事業本部長 他 2 名
- ・京都市危機管理監 他 2 名

4 議 題

- (1) 京都市地域防災計画 原子力災害対策編の修正等について
- (2) 京都市における原子力災害対策の取組状況について

5 関連報告「大飯発電所の取組みについて」（関西電力㈱から報告）

- (1) 新たな緊急時対策所の設置
- (2) 大飯 3 号機 加圧器スプレイライン配管溶接部における有意な信号指示について
- (3) 大飯 1, 2 号機 廃止措置の概要

令和2年度 京都市防災会議専門委員会 原子力部会

出席者名簿（敬称略）

専門委員会（原子力部会員）5人 ◎ 部会長

| 氏名 | 職名 | 分野 |
|--------|-------------------|-----------------|
| ◎土岐 憲三 | 立命館大学特別研究フェロー | 地震工学，文化財防災学 |
| 三島 嘉一郎 | 京都大学名誉教授 | 原子炉工学 |
| 大野 和子 | 京都医療科学大学教授 | 放射線管理 |
| 石川 裕彦 | 京都大学防災研究所教授 | 応用気象学，気象災害 |
| 藤川 陽子 | 京都大学複合原子力科学研究所准教授 | 環境工学，放射線の土壌への影響 |

関西電力株式会社・関西電力送配電株式会社

| 氏名 | 職名 |
|-------|--|
| 津田 雅彦 | 関西電力送配電株式会社 執行役員 京都支社長 |
| 近藤 佳典 | 関西電力株式会社 原子力事業本部 副事業本部長 |
| 日下 浩作 | 関西電力株式会社 原子力事業本部 原子力発電部門 原子力保全担当部長 |

京都市

| 氏名 | 職名 |
|-------|------------------------|
| 三科 卓巳 | 危機管理監 |
| 伊藤 誠司 | 行財政局 防災危機管理室長 |
| 石本 秀一 | 行財政局 防災危機管理室 原子力災害対策課長 |

議題(1) 京都市地域防災計画 原子力災害対策編の修正等について

○ 説明

- ア 京都市地域防災計画 原子力災害対策編
 - ・ 原子力災害対策指針の改正に伴う修正
 - ・ 「はじめに」の記載修正
 - ・ 統計数値の時点修正 など
- イ 京都市環境放射線モニタリング計画
 - ・ 農産物モニタリングの品目・産地等の変更 など
- ウ 京都市水道対策計画
 - ・ 施設の廃止に伴う応急給水槽の容量等の修正 など
- エ 原子力災害避難計画
 - ・ 統計数値の時点修正 など

○ 委員からの主な意見・質疑等

新旧対照表の一部記述修正が必要との指摘のうえ、了承された。

その他の主な意見・質疑は次のとおり。

- ・ 京都府北部からの避難が行われる際の除染方法はどのように想定されているのか。
⇒ 京都府が準備する避難退避時検査場所において、避難される方への検査・除染が行われることになっている。

議題(2) 京都市における原子力災害対策の取組状況について

○ 説明

- ア 環境放射線モニタリングの実施（空間放射線量率，農産物，水道水，河川水及び底質土）
- イ 防災業務関係者等に対する研修，市民啓発等（パンフレット『原子力防災の手引き』の改定及び配布）
- ウ 広域避難受入体制の整備（初期対応要員の選任・研修）

○ 委員からの主な意見・質疑等

資料，別添の記述に関する助言が行われた。

主な意見は次のとおり。

- ・ 空間放射線量率の数値が変動することは理解できるが，数値の変動が適正な範囲内に収まっているかを確認できる資料を次回の部会で作成して欲しい。
- ・ 各種研修の累計受講者数の資料を次回添付して欲しい。

関連報告 大飯発電所の取組みについて（関西電力(株)）

○ 説明

ア 新たな緊急時対策所の設置

イ 大飯3号機 加圧器スプレイライン配管溶接部における有意な信号指示について

ウ 大飯1, 2号機 廃止措置の概要

○ 委員からの主な意見・質疑等

大飯3号機 加圧器スプレイライン配管溶接部における有意な信号指示について

- ・ 有意な信号指示が確認された加圧器スプレイライン配管を取り替え、亀裂のあった配管で原因調査を行うとのことだが、現時点の調査結果による推定原因と、今後の原因調査から推定される原因の相違を検証して欲しい。
- ・ 調査結果は公表するのか。
 - ⇒ 公開の場で原子力規制委員会に報告することになっている。
- ・ 科学コミュニケーターを雇い、現状を分かりやすく示していくことが必要。
 - ⇒ 広報担当にも確認のうえ、分かりやすい資料作成を心掛けている。
- ・ 一般の方が分かりやすく、専門的なことも理解できるように説明していくことが大切。
- ・ 取替えを行う加圧器スプレイライン配管の溶接部には、以前から亀裂があったのではないか。
 - ⇒ 10年前に実施した超音波探傷検査では、有意な信号はなかった。（検出限界はあるので、検出限界以下の亀裂がなかったとは言い切れない。）
- ・ 他の箇所を検査する意向は。
 - ⇒ 亀裂のあった配管の調査結果をもとに判断することになるが、類似箇所等の点検実施は考えている。